

JR南武線連続立体交差事業の取組報告②

「仮線高架」工法決定

川崎市議会議員 末永直

川崎市議会平成29年第四回定例会が、11月27日より開かれており、12月20日に閉会する。我が自民党会派の代表質問（質問者・老沼純議員）が、去る12月6日に行われた。

質問内容は多岐にわたる。有識者の意見聴取等を経て、割愛させていただが、とりわけJR南武線立体交差事業（武蔵小杉駅～尻手駅）は中原区民の皆様が深く関心を寄せられていることから、JR南武線立体交差事業費は約1185億円と候補の3構造工法の中でも最も安価だ。踏切13箇所

末永直 プロフィール

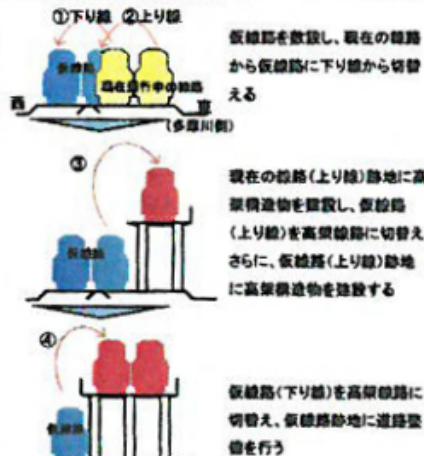
- 国立佐賀大学大学院
教育研究科卒業
- 心臓血管元秘書
- 昭和58年5月27日 34歳
- 政務活動事務所
〒211-0034
中原区井田中町42-10
- 問合せ先 0447-789-5823

の一つだと思うので本稿にて御報告させていただく。JR南武線連続立体交差事業の構造工法が先日、決定し、公表された。10月に純議員が、去る12月6日、府内検討委員会で「仮線高架」が最も優位な構造方法と確認され、市民への説明が行われた。

(1) 仮線高架

概算事業費：約1,185億円

現在運行している線路を一時的に仮線路に切替え、空いた線路敷きに高架構造物を建設する工法



全てが除去できる。しかし、本決定に時間を要した為、当初予定していた平成30年度の都市計画決定が困難な状況になる等、不安要素は拭い去れない。工事期間中の影響について色々疑問が生じる。

Q1. 重波障害、日照問題、プライバシーの問題、景観問題

Q1. 重波障害、日照問題、プライバシーの問題、景観問題にかかる期間は、↓A【用

事にかかる期間は、↓A【用】地質収に5年程度、工事に10年程度見込んでいるが、今後精査する】

Q2. 用地買収期間と工事にかかる期間は、↓A【用】地質収に5年程度、工事に10年程度見込んでいるが、今後精査する】

として本取組が着実に実施されるよう注視して参ります。今回で本年最後の寄稿となる。皆様良いお年を。

ようになつてゐるか。↓Aとしたロンジングレールの採用や、駅や道路のバリアフリーへの対応等が考えられるが、具体的な対策は今後検討する】

Q3. 工事で生じる経済損失額の試算は、↓A【算出しない。工事中の周辺への影響を最小限に抑えるための対策や早期完成に向けた取組を検討する】

今後、様々な課題が生じることが予想される。議会として本取組が着実に実施されるよう注視して参ります。今回で本年最後の寄稿となる。皆様良いお年を。